

<都知事選と図解>

- ・新聞に取り上げられたのは一般的にタブーとされる政治の話の議論の一環として扱う試みの大胆さへの敬意ではないか。
- ・ヨコ文字の多用、難しい言葉の乱用など、公約は高年齢層をターゲットにしているのではなかろうか。
- ・東京オリンピックのことが一切書かれていないため疑問。都知事選の裏側でコントロールしているのではないかと感じる。公平性を疑う。
- ・選挙に無関心という感覚でいると結果的に自分たちの未来を奪われていくことに気がついた。
- ・投票の仕方がわからない。
- ・図を描いているときの先生同士の話し声が気になって、集中力が欠けてしまった。
- ・神奈川県民だが、興味を持ったので結果までしっかりと追いたい。
- ・コロナを軸に比べてみた。他の軸でも比べてみたい。
- ・図の簡単な書き方を知りたい。

- ・候補者はなぜ文字で書くことにこだわる人がいるのだろうか。
- ・図解に起こすとき、骨格が大事。
- ・比べて理解するために図解を利用して考える事ができた。
- ・この授業を受ける前は都知事選に興味を持たなかったが、どういう考えを持って出馬したのかを図解にして理解できた。ニュースも注目しつつ慎重に選んでいきたい。
- ・先生の図解は、部類毎に分かれているため、見やすかった。難しい言葉を使い過ぎていて、若者への理解が重要であると思う。
- ・他の人や先生の図解は矢印や図形を使って分かりやすかった。有意義なグループワークだった。
- ・分かりやすい言葉を使い、略語を使わなければ投票率が上がるのでは。
- ・週に一度の自分の頭の中を図で表す重要な機会。

- ・ 図解にすると、自分の支持者以外も他の候補者も明確に理解することができた。
- ・ 今回の公約は具体的な内容の公約が多かった。今回の図解で表すことは、神奈川県知事選や横浜市長選にも繋がってくると感じた。
- ・ カタカナが多くて内容を理解するのが難しかった。
- ・ 神奈川県での選挙があったらちゃんと投票しに行こうと思った。
- ・ 選挙について考える事ができたが、まだ知識不足だ。
- ・ 授業の回数をこなしていくにつれ図解の書き方のコツがわかるようになった。
- ・ 時間をかけて考える機会を得られた。
- ・ 図解を用いて全体構造を比べることで、更に分かりやすい比較ができた。
- ・ 最終的には公約だけでなく演説などの選挙活動も視野に入れて決めるべき。
- ・ 先生がまとめた図は分かりやすかった。
- ・ ワードチョイスが大事だと気づいた。
- ・ すぐに話の核を理解できるような図を描けるようにしたい。

<質問・意見>

- ・ 図解をどのように作成したか聞きたい。
- ・ マーキングの色が濃いので薄くしてほしい。
- ・ グループワークで周りがミュートを解除せず静かな状態が続く場合どのようにしたらよいか？
- ・ もう少し字をキレイにしてほしい。

<興味を持った候補>

3回目：小池百合子45%。宇都宮健児22%、山本太郎13%、小野泰輔6%、立花孝志1%。

2回目：小池百合子47%、山本太郎27%、宇都宮健児20%、小野泰輔3%、立花孝志3%となった。他には後藤輝樹、桜井誠。

1回目：小池百合子33%、宇都宮健児21%、山本太郎20%、小野泰輔15%、立花孝志10%。